

文京すずめ

<http://bunkyoshuwakai.sakura.ne.jp>

2026年(令和8年)
3月23日(月曜日)
第196号
発行:文京手話会
代表者:鈴木 節子
編集:広報担当

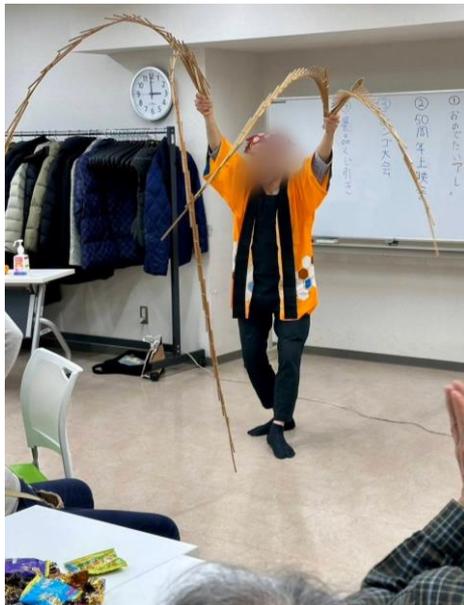


新年会が開かれました!

1月12日13時～ 区民センター

文京手話会夜サークルが企画し、昼サークル、そして文京区聴覚障害者協会の皆さんにもご参加いただき、合同の新年会を開催しました。

実は以前は1月の成人の日(第2月曜日)毎年新年会を開催してきたのですが、コロナ以降休止していました。



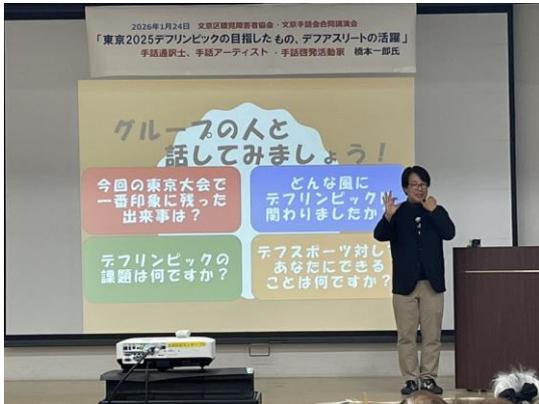
当日はゲームあり、お正月らしい余興ありと、とても楽しい時間でした。会場の区民センターでは飲食ができないために、新年会終了後は、近く中華料理店で食事をしながらの交流会。

やっぱりお正月ですから少しはアルコールも欲しいですね。同じサークル員でありながら、なかなかふだん昼と夜で交流する機会が少ないのですが、これからもこのような機会を増やしていきたいと思っています。

新年会・交流会の準備担当の皆さん、ご参加の皆さん、ありがとうございました。

(昼・谷)

東京 2025 デフリンピックのめざしたもの ～デフアスリートの活躍～



講師 **橋本一郎氏**

出身：東京都

手話通訳士

亜細亜大学経済学部特任准教授

障がい学生就学支援室支援コーディネーター

通称：デフアスリートのババ

橋本氏は、デフリンピック中のサインエール

の様子やデフアスリートの体験をクイズ形式で紹介したり、手話通訳者で現場にいる際、聴覚障がい者やデフアスリートにとって何が必要な環境かを考え、交渉をし、変えたという体験談を話してくださいました。常に彼らへ寄り添う姿勢が、彼らと深い信頼関係を結ぶことに繋がっていました。

ラジオ番組から橋本氏に出演のオファーがあった時のエピソードでは、ラジオは聴覚障がい者へ内容が伝わらないと彼は番組担当者に言ったそうです。それで後日番組のHPには文字起こしされた放送内容が見られたそうです。そのようにどこでも聴覚障がい者が困らない工夫が普通になるといいですね。

また私たちに向けて、「手話の勉強を趣味と言わないでください。趣味はたくさん持ちましょう。自分を楽しむことが大切」というメッセージが印象的でした。

講演会の参加者は92名で、終始笑いとおどろきの2時間でした。(昼・増田)



【来場者の感想】

- ※手話を始めたきっかけが亜細亜大での橋本氏の手話教室なので聞きたかった。裏話も聞いて楽しかった。
- ※本人による手話で講演してくれたので感動した。デフリンピックの知らなかった情報を知りえて良かった。
- ※「じゃあ次どうしようか」という言葉が胸に響いた。デフリンピックは終わったけれど、これから自分にできる小さなことを積み重ねていきたい。



青年部企画 第10回ミッション・インポッシブル

青年部企画のミッション・インポッシブルは昨年夏から準備を始めました。9月某日に4カ所の下見に出かけましたが、その中の日本オリンピックミュージアムが臨時休業だったため、10月に改めて訪問。会場の広さや問題の作りやすさを吟味して今回は日本オリンピックミュージアムに決めました。

その後、11月に再び青年部メンバーで訪れ、半日かけて問題づくりに取り組みました。

本番は2月1日に開催し、昼サークルと夜サークルから合わせて15名に参加いただきました。



グループに分かれて青年部が用意したクイズに挑戦しただけでなく、競技の体験コーナーで楽しむ様子も見られました。

「初めて参加したけれど、楽しかった」「問題を自前で用意したのはスゴイと思った」といった嬉しい感想もいただき、青年部一同、頑張った甲斐がありました。ありがとうございました。（夜 石田）

「ふみこむフェスタ」に参加しました

2月28日（土）、「文京区にふみこむフェスタ」が開催されました。

会場の区民センターには44の団体が出展し、多くの来場者が訪れ、各ブースでは熱心に見学する人や体験する人の姿が見られ、にぎやかな雰囲気になっていました。



文京区聴覚障害者協会と文京手話会は合同で体験ブースを出展し、きこえない人やきこえにくい人がどのような場面で困るのか、また災害時にはどのように情報を伝えるとよいのかなどについて、来場者の皆さまと共に考える機会となりました。参加者の皆さまが真剣に耳を傾け、理解を深めようとする姿が印象的でした。

簡単な手話の紹介も行い、実際に手を動かしながら学んでいただくことで、多くの気づきを共有でき、今後につながる意義深い時間となりました。（昼 E.K）





デフリンピック…夢のあと ～あれから4か月～

100周年を迎えた《第25回夏季デフリンピック競技大会・東京2025》

期間は2025年11月15日～26日 日本の選手団等約400人（選手270人、スタッフ130人）
日本のメダル数…金16・銀12・銅23

～文京区にゆかりのある選手をふりかえりましょう～

山田真樹さん

陸上 400m (47秒61日本記録)

今大会日本人第一号の金

200m : 銀 4×400m : 金



デフリンピックスクエアで遭遇！

岡本記代子さん

柔道 女子57 kg級1回戦敗退
女子団体戦 5位



早瀬憲太郎さん

自転車 ロード競技 (タイムトライアル) 26位
夏季デフリンピック4回出場



←Sign with me ブースで遭遇



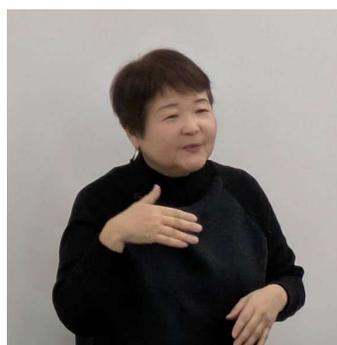
私たちが多くのデフリンピアンに出会い、ボランティア、
通訳、試合観戦などを通じて、選手とともにたくさんの夢
を追いかけることができました。 (昼・志村)

国際手話通訳者・高橋夫妻の講演会

デフリンピックに国際手話の通訳者として参加された高橋夫妻の講演会が1月19日の夜サークルで開催されました。大勢の参加者で会場は満席。多数の立見が出るほどの盛況ぶりでした。お二人が国際手話を学んだきっかけや、デフリンピックの様々な場面で通訳をされた時の様子、現場でのトラブルの数々について伺うことが出来ました。



また、Youtube で公開されている国際手話動画「3人の死刑囚」の笑い話を、事前説明無しでどの位内容が把握できるか会場全体で一緒に読み取りにチャレンジ。笑い話に出てきた国際手話と日本手話の単語を比較しながら解説頂くなど、内容が豊富で、1時間半がアツという間に過ぎました。終了後は近くのお店で交流会も行われ、大いに盛り上がりました。



【参加された方々から、以下のような感想が寄せられました】

- ・ Youtube で見た国際手話「3人の死刑囚」の笑い話がとても楽しかった。
- ・ デフリンピックで初めて国際手話を知った。世界共通の手話でコミュニケーションが出来るのが素敵だと思った。
- ・ 今後日本でも国際的なイベントが開かれるので、是非多くの方が国際手話を覚えられると良いと思った。
- ・ 手話通訳者は、通訳技術だけでなく倫理観も大切と思った。
- ・ 国際手話に興味を持った。国際手話を知らなくても、実際に見ると雰囲気の意味を少し掴むことが出来て嬉しかった。
- ・ 外国の方々と交流する時に、手話の違いだけでなく文化も大きな違いがあると感じた。
- ・ 英語は訛りなど音の違いがあっても通じるが、手話はその土地ごとに独自に作られた言語。世界各国共通で通じないことを知ることが出来た。
- ・ 現場でトラブル対応をする時に、状況を伝達する連携の様子を実際に見たかった。
- ・ デフバスケットボールの審判は聴者とろう者がペアで行う話が、審判の違いを知る良いきっかけになった。通常は2人の審判がアイコンタクトで試合状況を確認し合うが、聴者の審判は音に反応してしまう。ろう者の審判から諦めずにアイコンタクトを取り続けた結果、次第に慣れて審判同士でアイコンタクトが取れるようになったという話が印象に残った。





VOL. 4

ただいま講習中！



ご好評の連載もついに最終回！

大トリは、通訳者養成昼クラスの谷 千春さんと夜クラスの北田美千代さんです。



通訳養成コース昼クラスの講師を担当しています谷 千春です。

手話の学習にはゴールはない、と思いつつ 4 年間の学びの集大成であるクラス、今までの講師の皆さんの思いも感じながら、「リレーのアンカー」のような気持ちで指導にあたっています。受講生は 11 名。とてもチームワークの良いクラスで、ランチはほぼ毎週 1 階の手話カフェに行っています。私も午後の予定がない時にはできるだけ参加しています。働いているろう者のスタッフと顔なじみなのはもちろんですが、お店に来る他のお客様とも手話で交流できるのが楽しみのひとつでもあります。

また助手の大塚さんには毎回最後に手話でお話をしてもらっています。「日暮里駅」とか「東武デパート」など今では使われていない昔の手話をたくさん表現して下さるので、私も受講生と一緒に毎回必死に読み取っています。みんなはどのくらい読み取れているかな(笑)? 大塚さんにはいつも感謝しています。

通訳者養成クラス(夜)講師の北田と申します。助手の稲井泰子さんと共に担当しています。このクラスでは、文京区の登録通訳者を目指す学習をします。3年間学んできた内容を復習しながら、通訳者に必要な技術はもちろん、マナー、振る舞いなど、場面通訳を通し学習します。また、実践としては、合同交流会での司会や通訳、合同講演会では模擬通訳、修了式では最後のスピーチと通訳を担います。実践を通し毎年大きく成長する受講生の姿に、私達だけではなく、初級から上級クラスの講師助手も感動しています。先日、登録になった教え子の通訳姿に、受講生の頃とは見ちがえるほどの成長を感じました。また、通訳者にならなくとも、手話を続けてくれている皆さんにも感謝の気持ちでいっぱいです。

令和版「ただいま講習中」はいかがでしたか? 時が移っても、テキストが進化しても講師の方々の熱意はいつまでも変わらない! と確信しました。その思いが手話を学ぶ皆さまに届きましたら幸いです。ご寄稿いただいた皆さま、ありがとうございました。

(夜 福本)

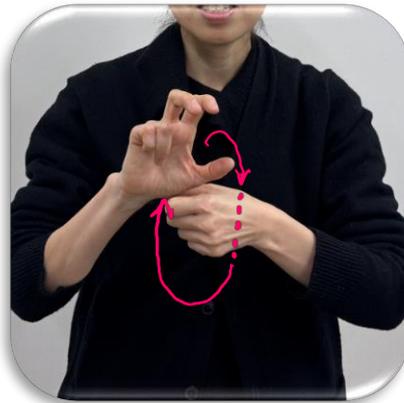
手話コーナー

今年は、十干の「丙（ひのえ）」と十二支の「午（うま）」が組み合わさった「丙午（ひのえうま）」の年です。丙午生まれの人には、いろいろな逸話(いつわ)や迷信があります。しかし、この年は、火の陽のエネルギーが非常に強く、活発で変化に富んだ「前進・飛躍」の年になると言われています。馬は、力強さや成功の象徴で、物事が「ウマ」く行き、運気が上昇するとされる縁起の良い年です。

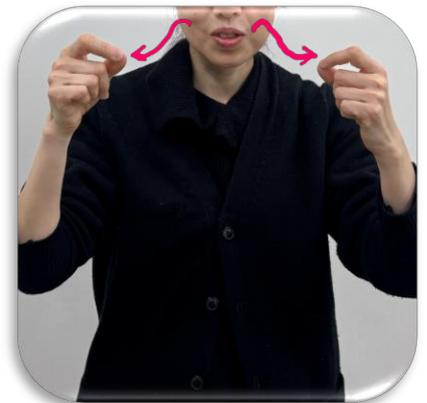
今回は、十二支の手話表現をいくつかご紹介します！



寅（とら）



干支



辰（たつ）



午（うま）①



午（うま）②



未（ひつじ）

午（うま）のミニ知識：昔の時刻で午の刻は、現在の昼12時の前後1時間ずつの2時間をいうそうです。だから午前、午後、正午というのですね。（昼・大西）



お 知 ら せ



4月5日(日)10時から手話会の総会が開かれます。皆さん是非ご参加ください。

日程		昼	夜
3月	30日	一年の振り返り	一年の振り返り
4月	6日	三二総会	三二総会
	13日	学習会	班活動
	20日	班活動	学習会
	27日	学習会	学習会
5月	4日	休み(みどりの日)	
	11日	学習会	学習会



編集後記

手話サークルに入ってまだ日が浅い私が、このたび編集長を務めることになりました。思いがけないご縁に驚きつつも、せっかくいただいた機会だからと引き受けることに決めました。経験も知識も十分とは言えず、不安や戸惑いを感じることもありましたが、その都度周囲の皆さんが温かく声をかけ、支えてくださいました。今まで目を通すだけだったこの会報が、多くの人の努力と協力で成り立っているのだということを実感しました。編集する立場になったからこそ、これまで見えていなかった舞台裏や、編集に携わる一人ひとりの思いに触れることができたのは、大きな学びでした。

まだまだ至らない点もありますが、この経験を通して得た気づきを大切にしながら、これからも皆さんと共に学び合い、支え合い、温かなサークルづくりに努めていきたいと思えます。

(昼・岡)